

関連専門業務 ⑨倫理・コンプライアンス

初級

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

担当者として対応した。

②複雑性

以下のいずれかを上司の指導の下で実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 10%以上)。

- 1. 研究倫理の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 2. 医学研究の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 3. 利益相反に関する情報提供や緊急時の対応, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 4. 輸出管理に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 5. 個人情報保護の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 6. 研究資金の適切な使用に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 7. 前記1. ~6. 以外のコンプライアンスに関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。

③重要性

④学内外貢献

以下のいずれかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 2. 自己の担当業務のマニュアル化を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

所属大学における自己の業務の位置づけを理解している。

②知識

- 1. 研究倫理に関する指針やガイドライン, 学内規則を理解している。
- 2. 医学研究に関する指針(例: ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針)やガイドライン, 学内規則を概略理解している
- 3. 利益相反に関する指針(例: 厚生労働科学研究における利益相反の管理に関する指針)や学内規則を概略理解している。
- 4. 輸出管理に関する法令(例: 外国為替及び外国貿易法と関連する政令, 省令等), 指針, ガイドライン, 学内規則を概略理解している。
- 5. 個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)と関連する政令や条例, 指針, ガイドライン, 学内規則を概略理解している。
- 6. 研究資金の適切な使用に関する法令(例: 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(補助金適正化法)と関連する政令, 省令等), 指針, ガイドライン, 学内規則に関する規則を概略理解している。
- 7. 前記1. ~6. 以外の大学のコンプライアンスに関する規則を概略理解している。

③実務

- 1. 研究倫理, 医学研究, 利益相反, 輸出管理, 個人情報保護, 情報公開や特定秘密保護, 研究費の適正な実施等に関する実務(例: 研究活動の適正な実施に関する指針や学内規則, 研究におけるミスコンダクトの事例, 研究者の利益相反に関する指針や学内規則, 輸出管理法制や関連学内規則等)の初歩的な事項(例: 実務全体の20~30%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 上司の指導の下でその課題を解決することができる。
- 3. 前記1. に関連して, 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。連携機関の規則を確認することができる。
- 4. 上司の指導の下で必要な資料作成ができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して, 内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級・中級 URA や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。

④語学

- 倫理・コンプライアンスに関する英文情報や関連する技術分野の論文を最低限の範囲で理解することができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例: 学内関係者, FA, 監督機関等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例: 規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

□主担当として対応した。

②複雑性

以下のいくつかを自律的に、複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 30%以上)。

- 1. 研究倫理の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 2. 医学研究の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 3. 利益相反に関する情報提供や緊急時の対応, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 4. 輸出管理に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 5. 個人情報保護の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 6. 研究資金の適切な使用に関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 7. 前記1. ~6. 以外のコンプライアンスに関する情報提供や緊急時の対応, 法令, 指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また, 管轄委員会向け資料作成に際して, 学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い, 各種セミナーを企画し, プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関連する法令や指針・ガイドラインの改訂や更新の動向につき, 常時チェックを行うことにより, 学内関連部署からの通達をよりわかりやすくプロジェクトメンバーに情報伝達することが可能となり, 学内外への対応が素早く適切に行えるようになった。
- 2. プロジェクト内での被験者の選定を含む研究のプロトコル, 研究者の利益相反の状況, 海外出身の研究者の参加を含む機微技術の取り扱い等の状況をフォローアップすることにより, 緊急時の対応がよりスムーズとなった。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 2. 後輩(例:初級レベル)に対して倫理・コンプライアンス関連業務に関する助言とOJTを行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。
- 2. 担当業務に関連する主要な研究機関の方針(ポリシー)を理解している。

②知識

- 1. 研究倫理に関する指針やガイドライン, 学内規則を理解している。
- 2. 医学研究に関する指針(例: ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針)やガイドライン, 学内規則を理解している。
- 3. 利益相反に関する指針(例: 厚生労働科学研究における利益相反の管理に関する指針)や学内規則を理解している。
- 4. 輸出管理に関する法令(例: 外国為替及び外国貿易法と関連する政令, 省令等), 指針, ガイドライン, 学内規則を理解している。
- 5. 個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)と関連する政令や条例, 指針, ガイドライン, 学内規則を理解している。
- 6. 研究資金の適切な使用に関する法令(例: 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(補助金適正化法)と関連する政令, 省令等), 指針, ガイドライン, 学内規則に関する規則を理解している。
- 7. 前記1. ~6. 以外の大学のコンプライアンスに関する規則を理解している。
- 8. 前記1. ~6. に関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を概略理解している。又は, 調査し, 把握することができる。

③実務

- 1. 研究倫理, 医学研究, 利益相反, 輸出管理, 個人情報保護, 情報公開や特定秘密保護, 研究費の適正な実施等に関する実務(例: 研究活動の適正な実施に関する指針や学内規則, 研究におけるミスコンダクトの事例, 研究者の利益相反に関する指針や学内規則, 輸出管理法制や関連学内規則等)の専門的事項(例: 実務全体の60~70%程度)を理解している。
- 2. 前記1. に関連する業務上の課題を発見し, 解決することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 前記1. に関連して, 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。連携機関の規則を確認することができる。
- 4. 関係者ごとに必要な情報を抽出・整理して, 資料作成や説明を行うことができ, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して, 内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 上級 URA や関係者に報告・相談し, 適切な対処ができる。
- 7. 関連する研究内容の概要を理解することができる。

④語学

- 1. 倫理・コンプライアンスに関する英文情報や関連する技術分野の論文の概要を理解することができる。
- 2. 各種問い合わせに対してメールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例: 学内関係者, FA, 監督機関等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例: 規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 5. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

複数の業務に適切な優先順位をつけ、限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。

業績指標

以下の条件の実績と経験を有する。

①責任性

統括責任者として対応した。

②複雑性

以下のいくつかの倫理・コンプライアンスに関する課題について、多角的な視点で様々な解決策の提案を複数回実行した実績／経験を有する(結果への寄与度 50%以上)。

- 1. 研究倫理の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、あるいはセミナーの講師を務め、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 2. 医学研究の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、あるいはセミナーの講師を務め、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 3. 利益相反に関する情報提供や緊急時の対応、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、あるいはセミナーの講師を務め、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 4. 輸出管理に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、あるいはセミナーの講師を務め、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 5. 個人情報保護の適切な実施に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、あるいはセミナーの講師を務め、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 6. 研究資金の適切な使用に関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、あるいはセミナーの講師を務め、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。
- 7. 前記1.～6. 以外のコンプライアンスに関する情報提供や緊急時の対応、法令、指針や学内規則への適合性確認や定期的な運用状況の確認を学内関連部署と連携して行った。また、管轄委員会向け資料作成に際して、学内関連部署への適切な情報提供及び作成支援を行い、各種セミナーを企画し、あるいはセミナーの講師を務め、プロジェクトメンバーの意識の改善に貢献した。

③重要性

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関連する法令や指針・ガイドラインの改訂や更新の動向につき、常時チェックを行うことにより、学内関連部署からの通達をよりわかりやすくプロジェクトメンバーに情報伝達することが可能となり、学内外への対応が素早く適切に行えるようになった。
- 2. プロジェクト内での被験者の選定を含む研究のプロトコル、研究者の利益相反の状況、海外出身の研究者の参加を含む機微技術の取り扱い等の状況をフォローアップすることにより、緊急時の対応がよりスムーズとなった。

④学内外貢献

以下のいくつかに相当する実績／経験を有する。

- 1. 関係者からの質問に対して適切な回答／助言を行った。
- 2. 研究倫理委員会から意見を求められることが多くなった。

□3. 後輩(例:レベル初級・中級)に対する育成指導／助言を行った。

⑤その他

業務遂行能力指標

以下の条件の能力を有する。

①事業

- 1. 所属大学における自己の業務の位置づけを理解しており、関係者に説明できる。
- 2. 担当業務に関連する主要な研究機関の方針(ポリシー)を理解している。
- 3. 担当業務に関する課題を発見し、あるいは課題に対して多角的な視点で様々な解決策の提案ができる。

②知識

- 1. 研究倫理に関する指針やガイドライン, 学内規則を理解している。
- 2. 医学研究に関する指針(例:ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針)やガイドライン, 学内規則を理解し, 関係者に説明することができる。
- 3. 利益相反に関する指針(例:厚生労働科学研究における利益相反の管理に関する指針)や学内規則を理解し, 関係者に説明することができる。
- 4. 輸出管理に関する法令(例:外国為替及び外国貿易法と関連する政令, 省令等), 指針, ガイドライン, 学内規則を理解し, 関係者に説明することができる。
- 5. 個人情報保護に関する法律(個人情報保護法)と関連する政令や条例, 指針, ガイドライン, 学内規則を理解し, 関係者に説明することができる。
- 6. 研究資金の適切な使用に関する法令(例:補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律(補助金適正化法)と関連する政令, 省令等), 指針, ガイドライン, 学内規則に関する規則を理解し, 関係者に説明することができる。
- 7. 前記1.～6. 以外の大学のコンプライアンスに関する規則を十分に理解している。
- 8. 前記1.～6. に関連する大学, 研究コミュニティ, 産業界, 社会の動向を十分に理解している。

③実務

- 1. 研究倫理, 医学研究, 利益相反, 輸出管理, 個人情報保護, 情報公開や特定秘密保護, 研究費の適正な実施等に関する実務(例:研究活動の適正な実施に関する指針や学内規則, 研究におけるミスコンダクトの事例, 研究者の利益相反に関する指針や学内規則, 輸出管理法制や関連学内規則等)の高度に専門的な事項(例:実務全体の90%程度)を理解している。
- 2. 前記1.に関連する業務上の課題を発見し, その課題に対して多角的な視点で様々な解決策を提案することができる(他者との適切な連携を通じて解決できる場合を含む)。
- 3. 前記1.に関連して, 外部の機関との交渉, 調整等の作業の進め方等を理解している。連携機関の規則を確認することができる。
- 4. 関係者ごとに必要な情報を初級・中級 URA に指示して抽出・整理し, 会議や打合せを効率良く進めることができる。
- 5. 全体のスケジュールと進捗状況を把握して, 内外関係者と共有し, 期日内に業務を終わらせられるよう, 内外関係者の協力を得ることができる。
- 6. 研究者, あるいは研究コミュニティとトラブルがあった場合, 関係者に報告・相談し, 初級・中級 URA に指示して, 主導的に対応することができる。
- 7. 関連する研究内容につき, その概要を理解し, 外部に説明することができる。

④語学

- 1. 倫理・コンプライアンスに関する英文情報等や関連する技術分野の論文を正しく迅速に理解することができる。
- 2. 各種問い合わせに対してメールでやり取りができる。

⑤対人

- 1. 関係者(例:学内関係者, FA, 監督機関等)から円滑に情報収集ができる。
- 2. 関係者の説明(例:規則, 実施計画等)を理解することができる。
- 3. 関係者の信頼を得て, 連携し, 協働できる。
- 4. 関係者(上司, 部下, 研究者)を納得させることができる。
- 5. 相手先(海外を含む)機関の文化や慣習等を理解し, 対応することができる。
- 6. 関係者との間で円滑なコミュニケーションをとることができる。

⑥その他

- 複数の業務に適切な優先順位をつけ, 限られた時間を有効に活用し業務を遂行できる。